

☒ ソフト事業のみ
 ☐ ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和6 年度

市町村名	小鹿野町			
提案事業名	DIY（であい）を通じた交流拠点創出事業			
事業期間	令和6 年度	～	令和6 年度	
事業の必要性、目的	著しい少子高齢化が進むなかで、若者達の出会いの場がなくなってきている状況であることから、町内に住む若者や町内事業所で働く若者が観光案内所を使い、協働でDIYをすることで、若者の出会いや交流を深め、関係性を深化することを目的とする。DIY作業については、町内の大工をアドバイザーとして招聘し指導や協力を受けるとともに、改修した観光案内所は地域コミュニティの拠点・人が集う空間として幅広く活用していく。			
成 果 指 標	（成果を検証する指標） DIY参加人数と観光案内所利用人数			
	（成果検証の具体的な方法） 町内有志の若者のDIY作業への参加者と新たな交流施設の利用者状況を比較する。			
	（上記の指標を設定した理由） 観光案内所のDIYを通じて若者の出会いの場を創出し、交流を通じて関係性を深める。リノベーションした観光案内所を新たな出会い創出の場として利用を図る。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （令和5年度）	DIY参加人数：0人 観光案内所利用人数：10人/日	目標値 （令和7年2月時点）	DIY参加人数：のべ100人 観光案内所利用人数：20人/日
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
	住民への公表方法 及び特記事項	町HPによる公表		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和6年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	DIY（であい）を通じた交流拠点創出事業 ソフト	町内に住む若者や町内事業所で働く若者の交流の場や関係性を深め、新たな出会いの場を創出する。町の市街地への入り口である、観光案内所をリノベーションし新たな出会いと賑わい創出を図る。	1,576
②	ハード ソフト 間接補		
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
合計			1,576

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	町HP等で、事業概要を広く周知することで多くの若者の参加者を募るとともに、新たな拠点整備によって話題性が出ることで、多くの来客が期待される。
成果指標の達成見込み	上記方策により達成が見込まれる。